

令和7年度 熱海市多文化共生基礎調査
(日本人調査・外国人調査)
【報告書抜粋版】

令和8年2月

熱海市

1	調査概要	1
1	1. 目的	1
2	2. 実施期間	1
3	3. 調査対象者及び調査方法	1
4	4. 回収結果	1
5	5. 報告書をみる際の注意点	2
2	調査結果（日本人調査）	3
1	1. 外国人とつき合いがあるか	3
2	2. 地域で暮らす外国人に親しみを感じるか	4
3	3. 多文化共生に関する意見について	5
4	4. とともに暮らしやすい地域社会にしていくために、行政が力を入れるべき取組	7
5	5. 外国人住民が増加することによる影響について	8
3	調査結果（外国人調査）	11
1	1. 在留資格	11
2	2. 一緒に住んでいる人たち	12
3	3. 日本人と交流があるか	13
4	4. 地域で暮らす日本人に親しみを感じるか	14
5	5. 日本人から差別されていると感じるか	14
6	6. 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと	15
7	7. 今、日本語を学んでいるか	17
8	8. 何のために日本語を学んでいるか	17
9	9. 日本語が不自由なために困ったこと	18
10	10. 困ったときの相談先	19
11	11. 団体や行事に参加した経験	20
12	12. 外国人が熱海市で就職・就労するときに課題となること	24
13	13. 市役所や県に対して望む行政サービス	25

1 調査概要

1. 目的

熱海市の多文化共生推進業務の基礎資料とするため、日本人及び様々な国籍の外国人市民を対象に、生活の実態や多文化共生に関する意識等を明らかにすることを目的としています。

2. 実施期間

令和7年12月11日（木）から令和7年12月26日（金）

3. 調査対象者及び調査方法

(1) 日本人調査

区分	内容
対象者	熱海市に住む18歳以上の日本人1,500人
調査方法	郵送配布、郵送回収、WEB回収

(2) 外国人調査

区分	内容
対象者	熱海市に住む18歳以上の外国人1,294人
調査票の種類	英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語、フィリピン語、韓国語、インドネシア語の8種類（回答者から要望があった場合は日本語の調査票を発送）
調査方法	郵送配布、郵送回収、WEB回収

4. 回収結果

(1) 日本人調査

発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,500	535	177	712	710	47.3%

※「有効回収数」は、回収されたが回答がない、または極端に少ない票を除いた数。

(2) 外国人調査

発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,294	278	212	490	480	37.1%

外国人調査の回答言語別内訳

回答言語	発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	有効回収数	有効回収率
英語	128	23	212	490	480	37.1%
中国語	165	24				
ベトナム語	223	30				
ネパール語	392	128				
ミャンマー語	134	16				
フィリピン語	102	22				
韓国語	86	18				
インドネシア語	62	15				
日本語	2	2				
計	1,294	278				

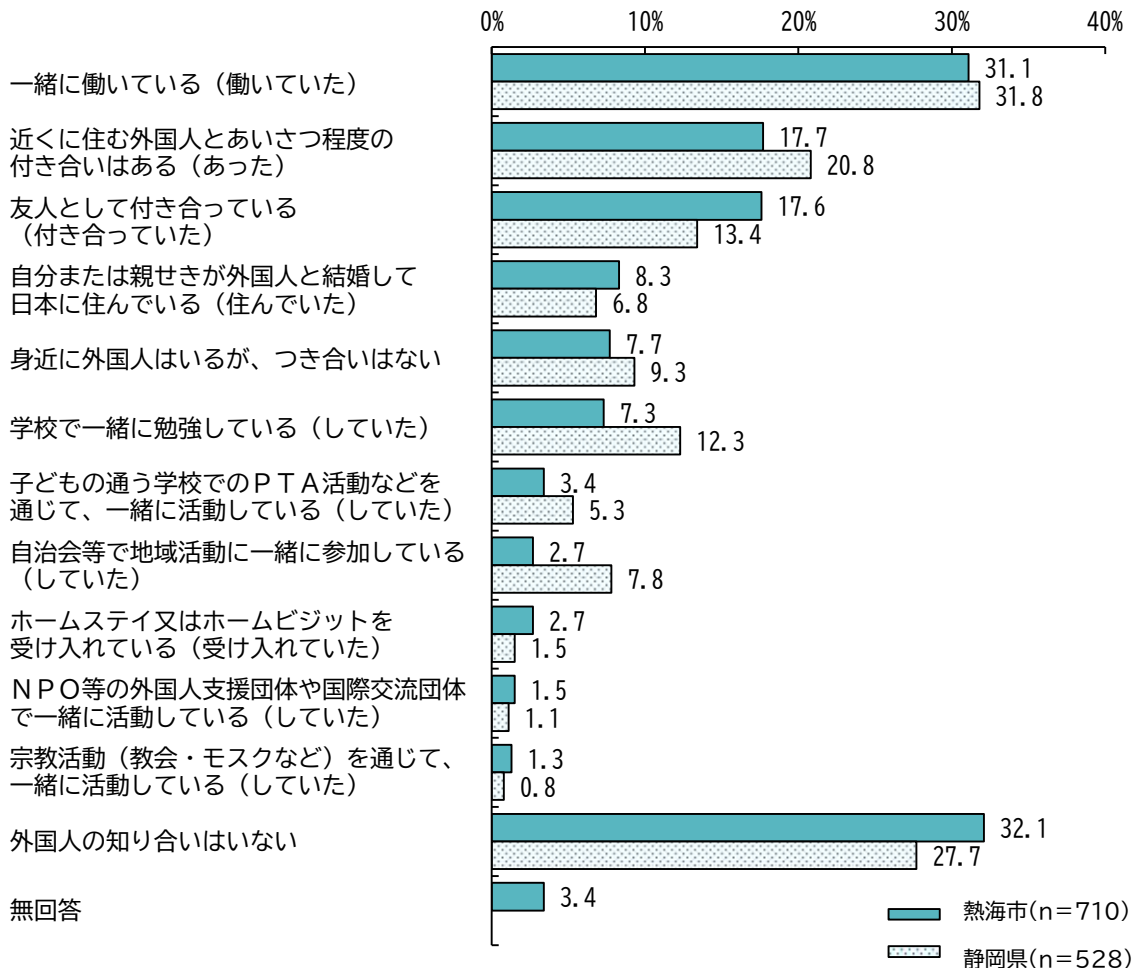
5. 報告書を見る際の注意点

- (1) 基数となるべき実数は調査数nとして記載しています。
- (2) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (3) 複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 各グラフにおける「静岡県」は、静岡県が2024年（令和6年度）に実施した「静岡県多文化共生基礎調査」を示しています。

2 調査結果（日本人調査）

1. 外国人とつき合いがあるか

問4 あなたは外国人と以下のようなつき合いがありますか。（過去の経験を含む）
（あてはまるもの全てに○）



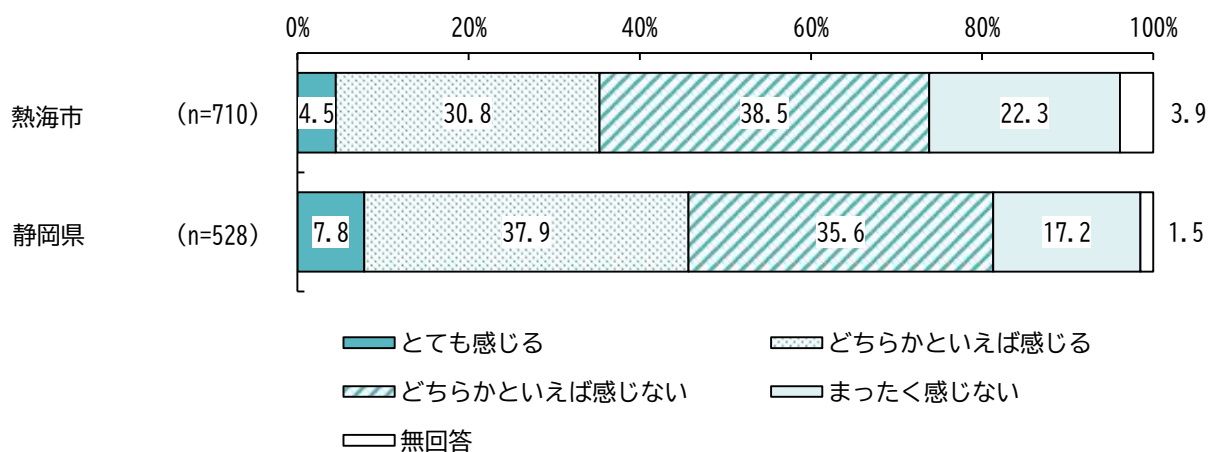
※静岡県の調査では無回答はなし

外国人とつき合いがあるかでは、「一緒に働いている（働いていた）」が31.1%と最も多く、次いで「近くに住む外国人とあいさつ程度のつき合いはある（あった）」が17.7%、「友人として付き合っている（付き合っていた）」が17.6%などとなっています。また、「外国人の知り合いはいない」が32.1%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「自治会等で地域活動と一緒に参加している（していた）」は5.1ポイント少なくなっています。

2. 地域で暮らす外国人に親しみをを感じるか

問6 地域で暮らす外国人について、どの程度親しみを感じますか。(○は1つ)



地域で暮らす外国人に親しみを感ずるかでは、「とても感じる」が4.5%、「どちらかといえば感じる」が30.8%、「どちらかといえば感じない」が38.5%、「まったく感じない」が22.3%となっています。

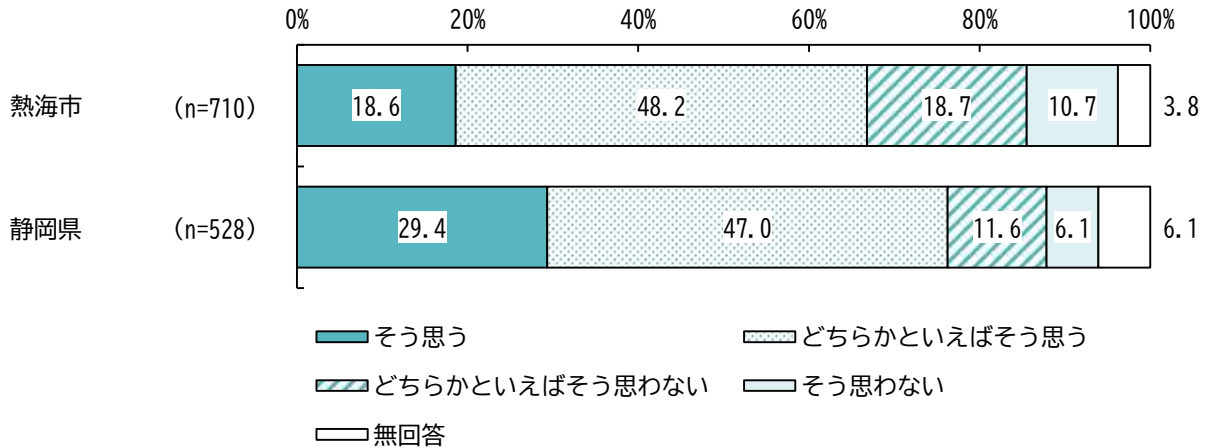
静岡県の調査と比較すると、「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は10.4ポイント少なくなっています。

3. 多文化共生に関する意見について

問9 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

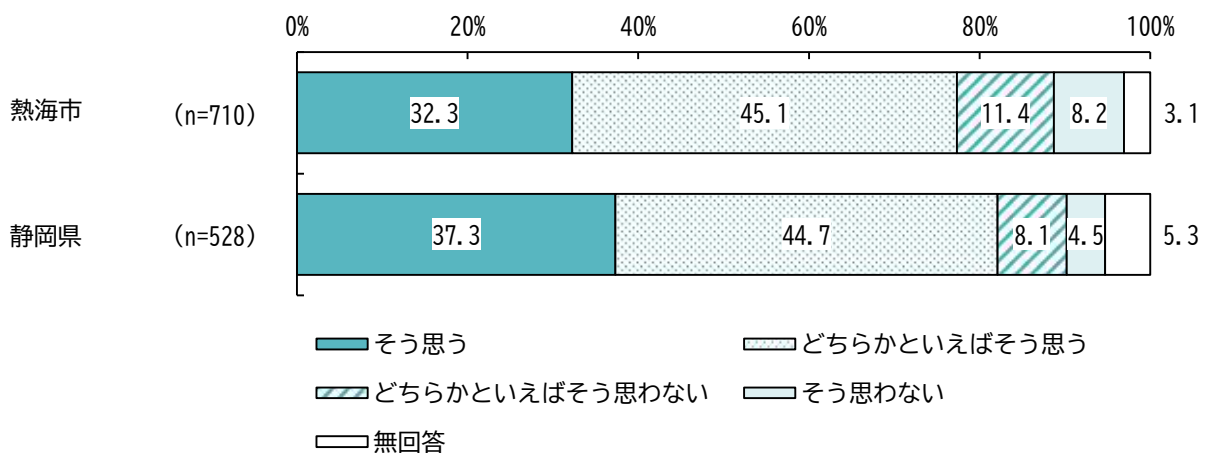
【A 外国人とのコミュニケーションを図るため、日本人は、外国語や「やさしい日本語」及び外国の文化を学ぶべきだ】



外国人とのコミュニケーションを図るため、日本人は、外国語や「やさしい日本語」及び外国の文化を学ぶべきでは、「そう思う」が18.6%、「どちらかといえばそう思う」が48.2%、「どちらかといえばそう思わない」が18.7%、「そう思わない」が10.7%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』は11.7ポイント多くなっています。

【B 日本人は、外国人が日本の言語、文化、習慣やルールを学べるように支援すべきだ】

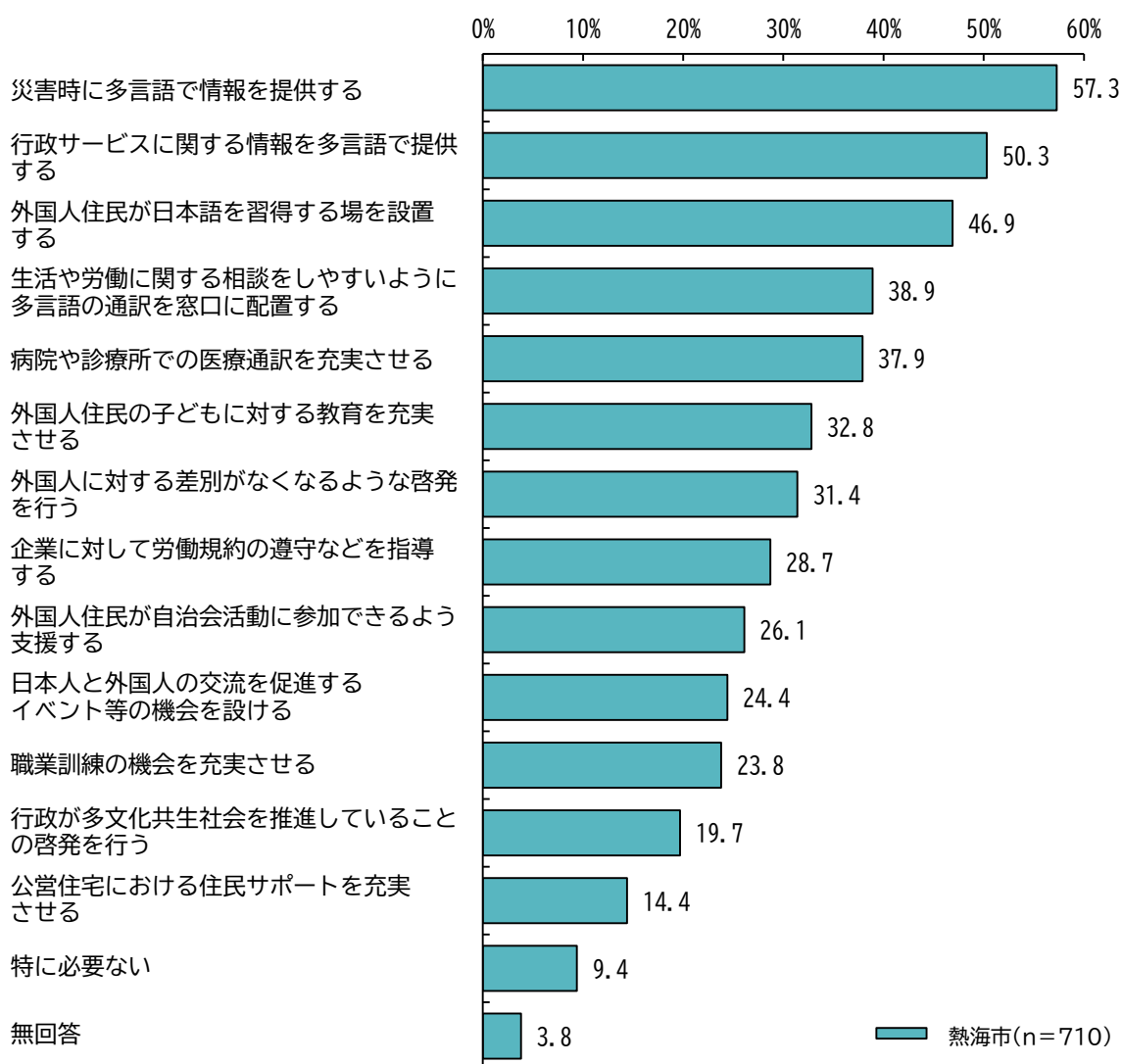


日本人は、外国人が日本の言語、文化、習慣やルールを学べるように支援すべきだでは、「そう思う」が32.3%、「どちらかといえばそう思う」が45.1%、「どちらかといえばそう思わない」が11.4%、「そう思わない」が8.2%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『思わない』は7.0ポイント多くなっています。

4. とともに暮らしやすい地域社会にしていくために、行政が力を入れるべき取組

問11 日本人住民と外国人住民がともに暮らしやすい地域社会にしていくために、行政はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。(（あてはまるもの全てに○)

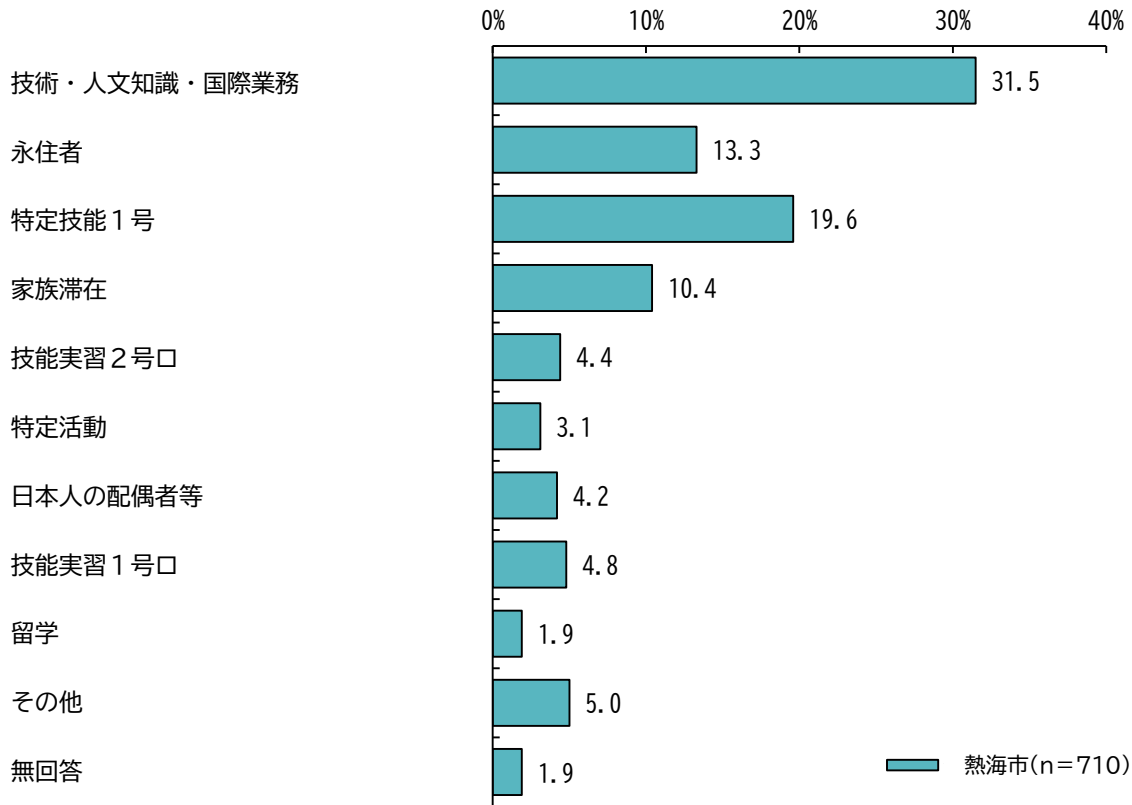


とともに暮らしやすい地域社会にしていくために、行政が力を入れるべき取組では、「災害時に多言語で情報を提供する」が57.3%と最も多く、次いで「行政サービスに関する情報を多言語で提供する」が50.3%、「外国人住民が日本語を習得する場を設置する」が46.9%などとなっています。

3 調査結果（外国人調査）

1. 在留資格

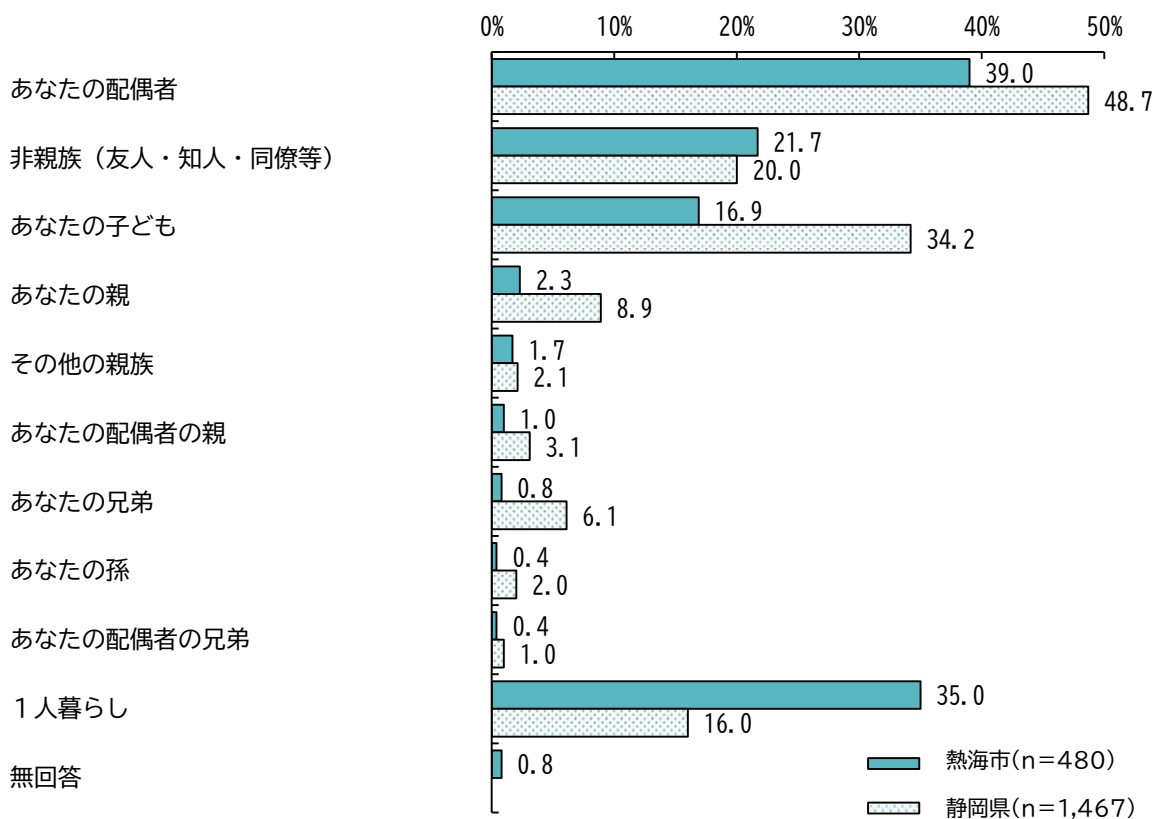
問5 あなたの在留資格は、次のどれですか。（○は1つ）



在留資格では、「技術・人文知識・国際業務」が31.5%と最も多く、次いで「特定技能1号」が19.6%、「永住者」が13.3%などとなっています。

2. 一緒に住んでいる人たち

問8 一緒に住んでいる人たちについて教えてください。(あてはまるもの全て選択してください)



※静岡県の調査では無回答はなし

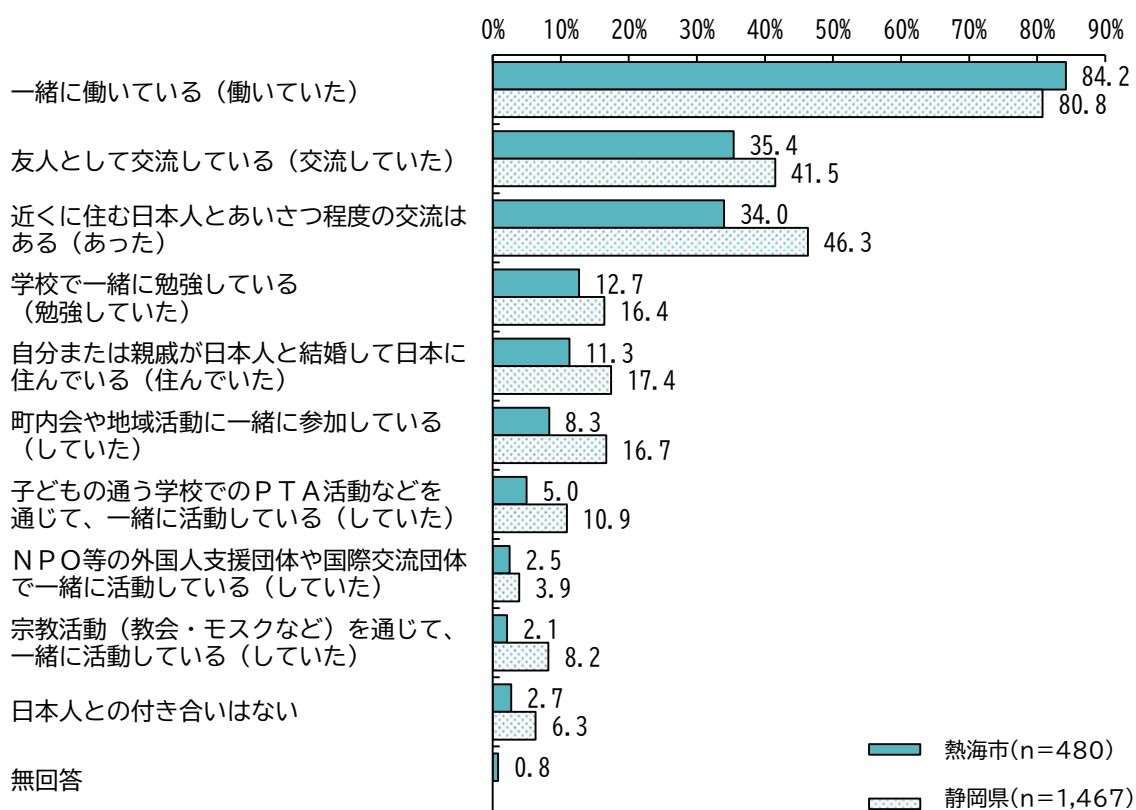
一緒に住んでいる人たちでは、「あなたの配偶者」が39.0%と最も多く、次いで「非親族(友人・知人・同僚等)」が21.7%、「あなたの子ども」が16.9%などとなっています。また、「1人暮らし」が35.0%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「1人暮らし」は19.0ポイント多くなっています。

3. 日本人と交流があるか

問10 あなたは日本人と以下のような交流がありますか。

(過去の経験も含めて全て選択してください)



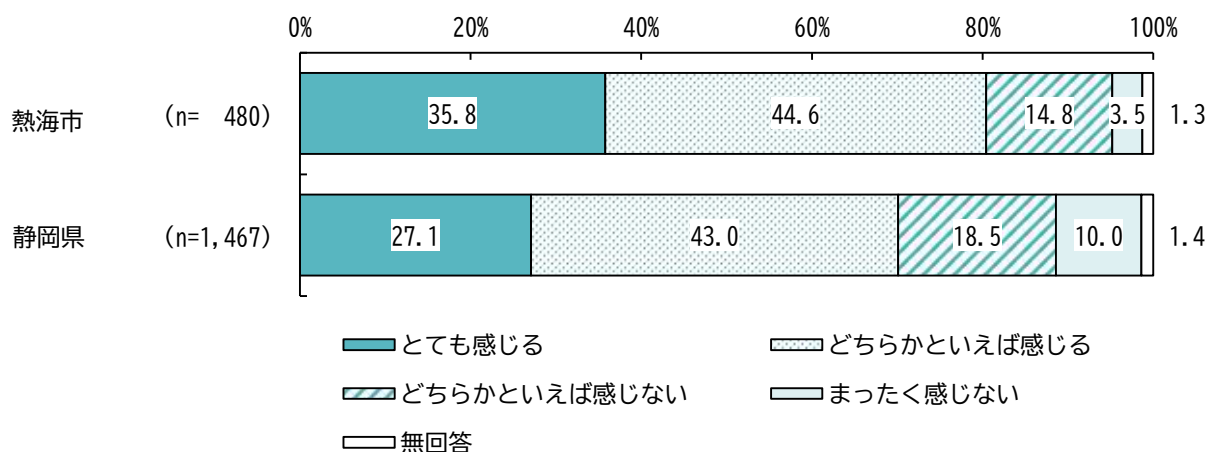
※静岡県の調査では「友人として交流している (交流していた)」は「友人として付き合っている (付き合っていた)」、無回答はなし

日本人と交流があるかでは、「一緒に働いている (働いていた)」が84.2%と最も多く、次いで「友人として交流している (交流していた)」が35.4%、「近くに住む日本人とあいさつ程度の交流はある (あった)」が34.0%などとなっています。

静岡県の調査と比較すると、「近くに住む日本人とあいさつ程度の交流はある (あった)」は12.3ポイント少なくなっています。

4. 地域で暮らす日本人に親しみを感ずるか

問11 あなたは地域で暮らす日本人にどの程度親しみを感ずますか。(○は1つ)

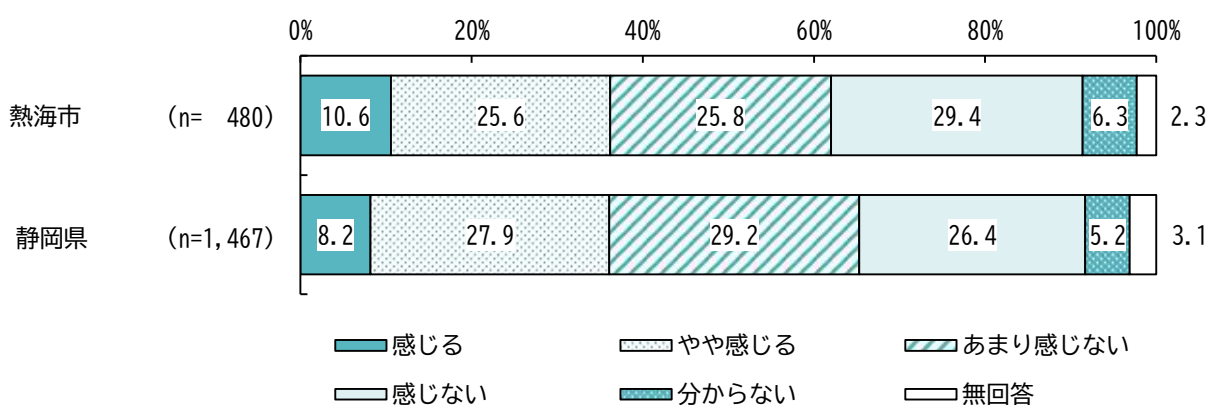


地域で暮らす日本人に親しみを感ずるかでは、「とても感ずる」が35.8%、「どちらかといえば感ずる」が44.6%、「どちらかといえば感ずらない」が14.8%、「まったく感ずらない」が3.5%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「とても感ずる」と「どちらかといえば感ずる」を合わせた『感ずる』は10.3ポイント多くなっています。

5. 日本人から差別されていると感ずるか

問12 あなたは、日本人から差別されていると感ずることがありますか。(○は1つ)



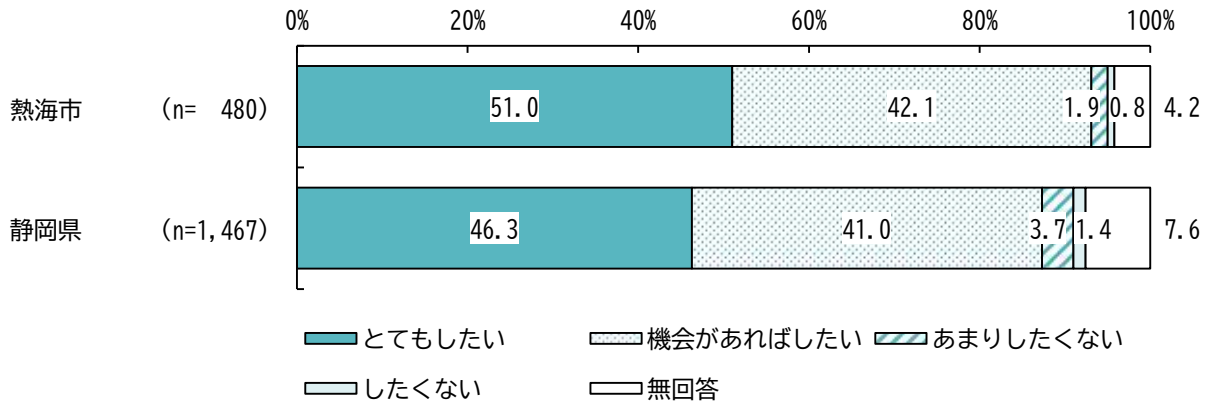
日本人から差別されていると感ずるかでは、「感ずらない」が29.4%と最も多く、次いで「あまり感ずらない」が25.8%、「やや感ずる」が25.6%などとなっています。

静岡県の調査と比較すると、大きな差はありませんでした。

6. 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

問14 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるために、あなたは以下のことをどの程度したいと思いますか。(A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

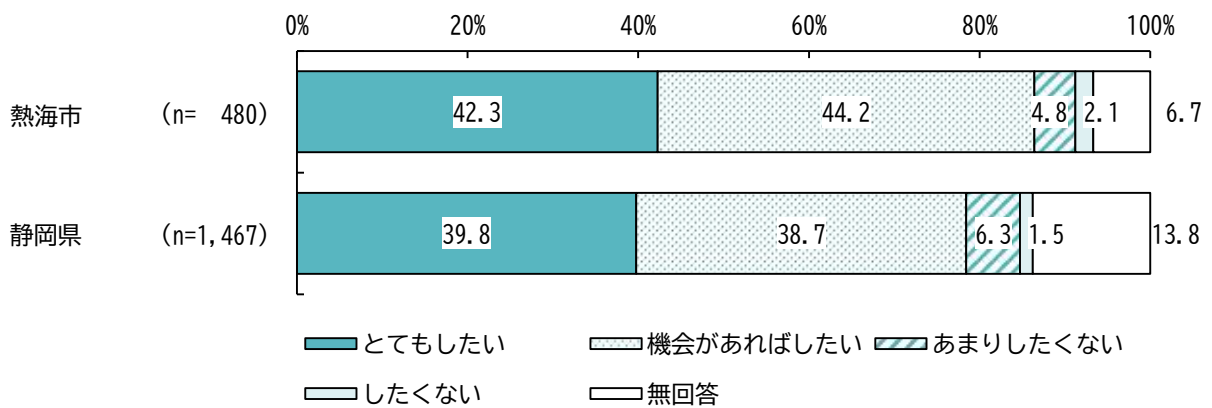
【A 日本の文化、生活習慣を理解するように努める】



日本の文化、生活習慣を理解するように努めるでは、「とてもしたい」が51.0%、「機会があればしたい」が42.1%、「あまりしたくない」が1.9%、「したくない」が0.8%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「とてもしたい」と「機会があればしたい」を合わせた『したい』は5.8ポイント多くなっています。

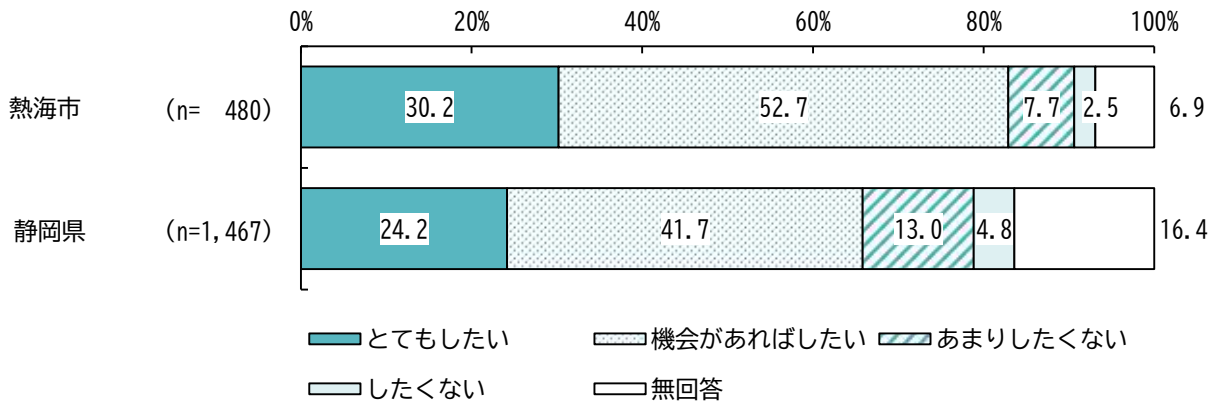
【B あいさつなど、日ごろから近所の人たちと交流する】



あいさつなど、日ごろから近所の人たちと交流するでは、「とてもしたい」が42.3%、「機会があればしたい」が44.2%、「あまりしたくない」が4.8%、「したくない」が2.1%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『したい』は8.0ポイント多くなっています。

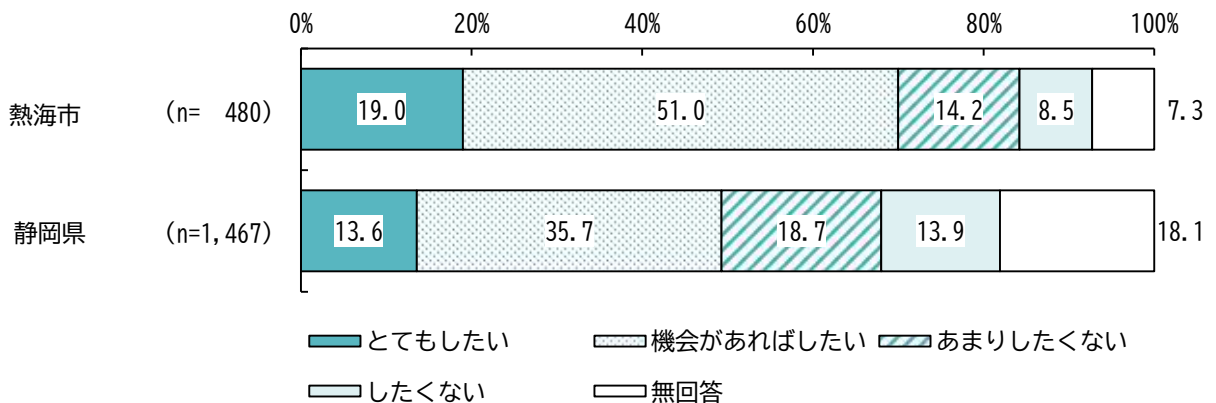
【C 母国の言葉や文化を日本の住民に紹介する】



母国の言葉や文化を日本の住民に紹介するでは、「とてもしたい」が30.2%、「機会があればしたい」が52.7%、「あまりしたくない」が7.7%、「したくない」が2.5%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『したい』は17.0ポイント多くなっています。

【D 市役所の窓口やイベント等での通訳や翻訳のボランティアを行う】

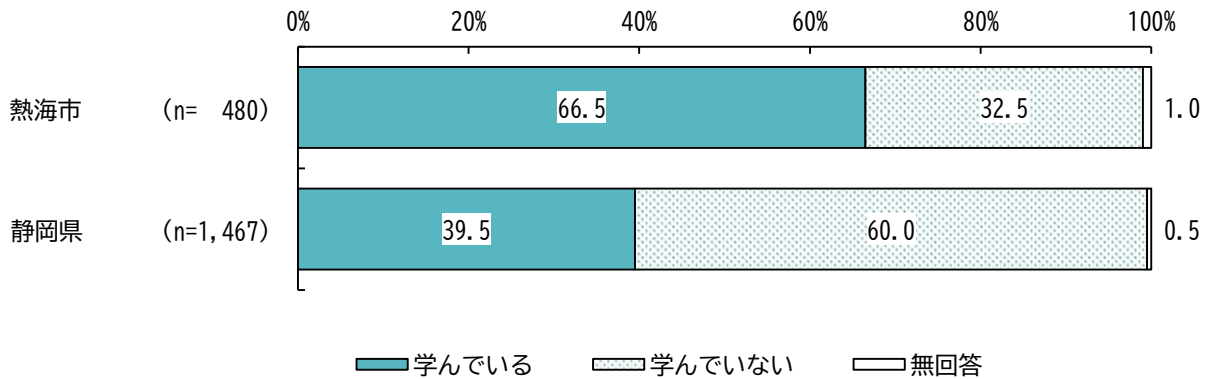


市役所の窓口やイベント等での通訳や翻訳のボランティアを行うでは、「とてもしたい」が19.0%、「機会があればしたい」が51.0%、「あまりしたくない」が14.2%、「したくない」が8.5%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『したい』は20.7ポイント多くなっています。

7. 今、日本語を学んでいるか

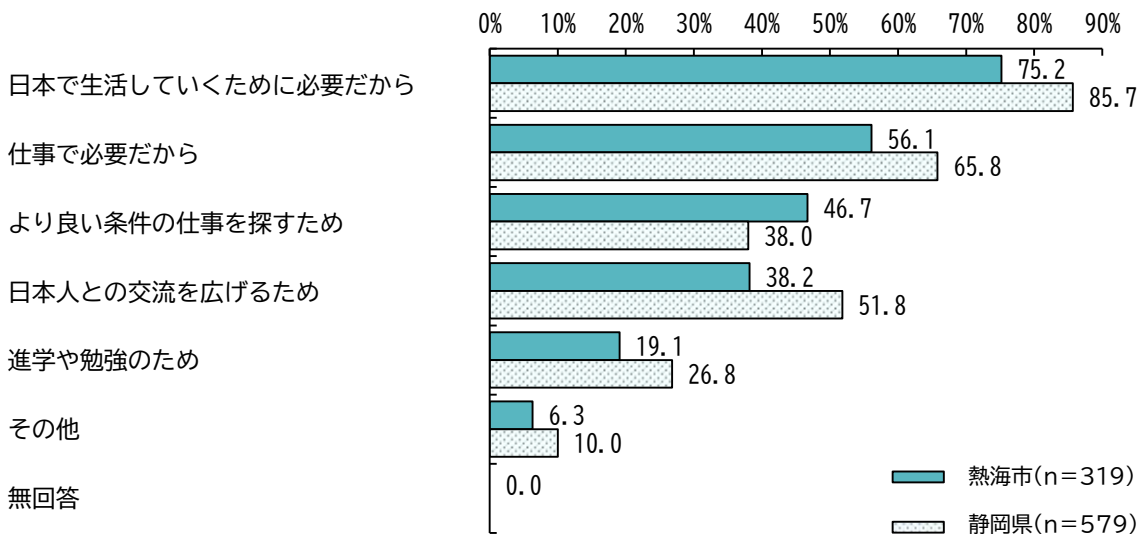
問16 あなたは、今、日本語を学んでいますか。(○は1つ)



今、日本語を学んでいるかでは、「学んでいる」が66.5%、「学んでいない」が32.5%となっています。静岡県の調査と比較すると、「学んでいない」は27.5ポイント少なくなっています。

8. 何のために日本語を学んでいるか

問16-2 あなたは何のために日本語を学んでいますか。(あてはまるもの全て選択してください)



※問16で「学んでいる」と回答した人のみ

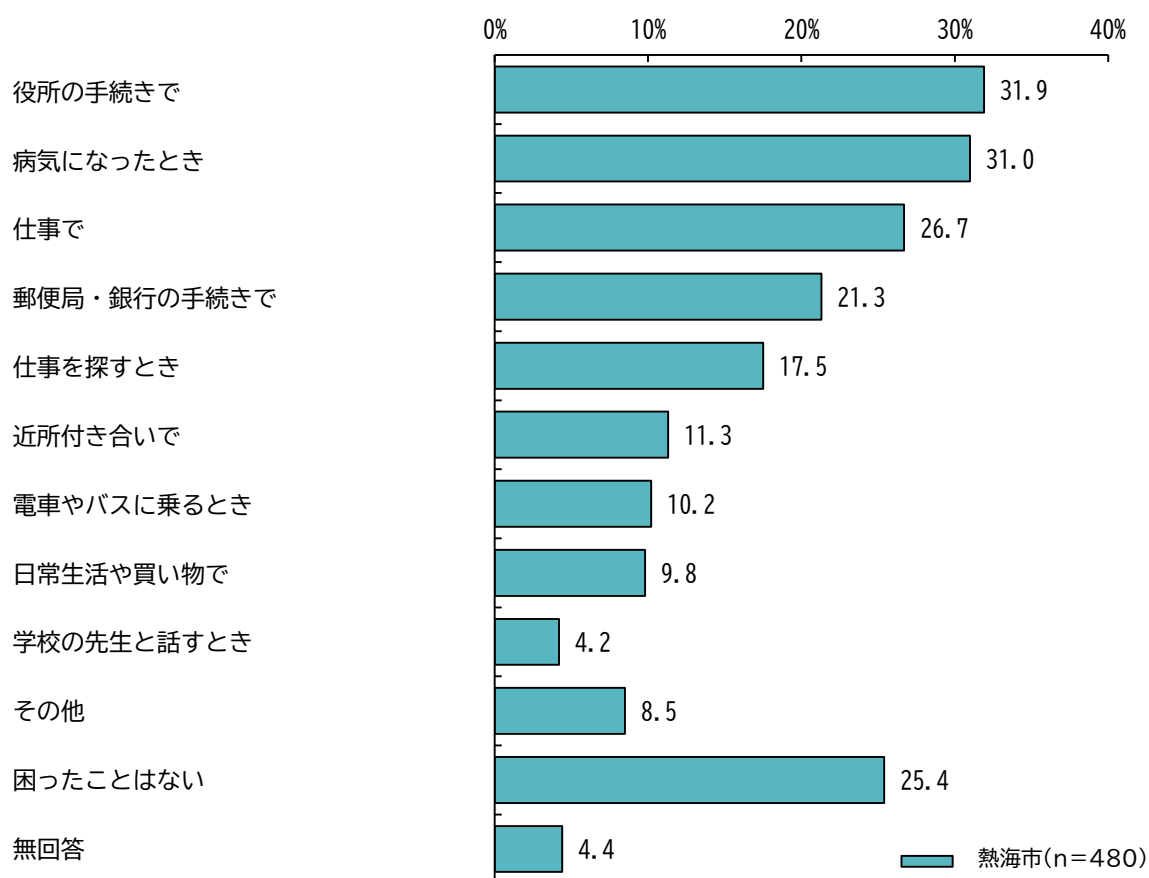
※静岡県の調査では「日本人との交流を広げるため」は「日本人との付き合いを広げるため」、無回答はなし

何のために日本語を学んでいるかでは、「日本で生活していくために必要だから」が75.2%と最も多く、次いで「仕事で必要だから」が56.1%、「より良い条件の仕事を探すため」が46.7%などとなっています。

静岡県の調査と比較すると、「日本人との交流を広げるため」は13.6ポイント少なくなっています。

9. 日本語が不自由なために困ったこと

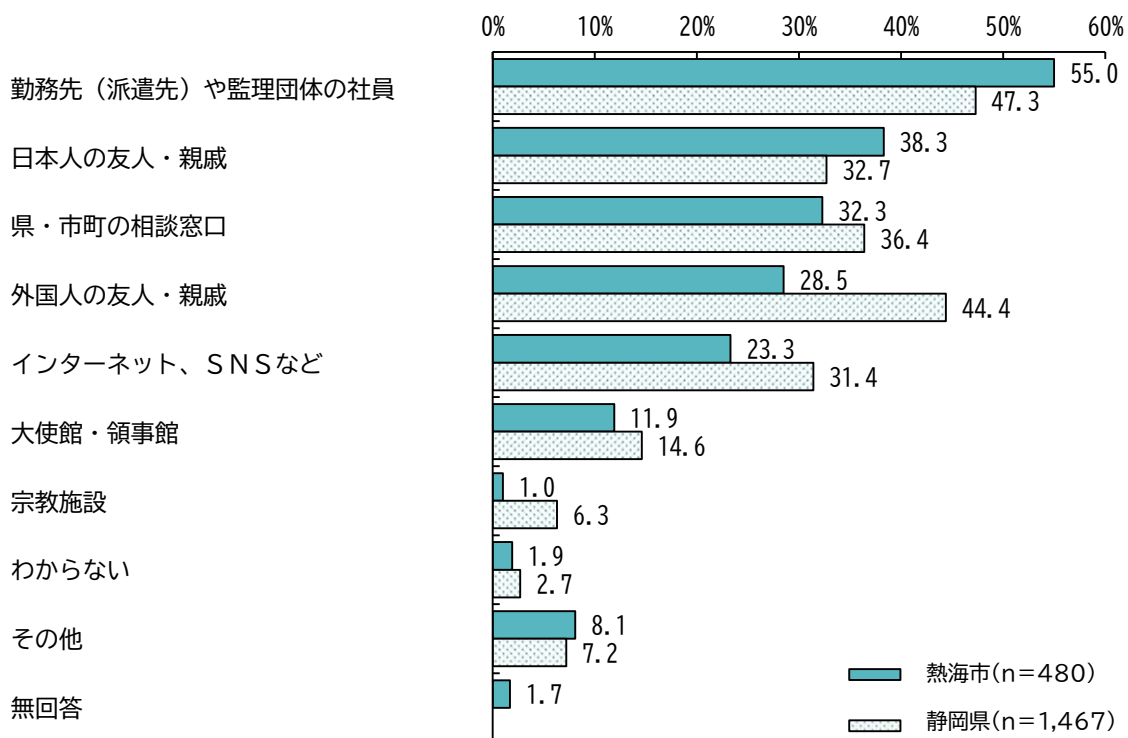
問19 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために困ったことがありますか。
(あてはまるもの全て選択してください)



日本語が不自由なために困ったことでは、「役所の手続きで」が31.9%と最も多く、次いで「病気になったとき」が31.0%、「仕事で」が26.7%などとなっています。

10. 困ったときの相談先

問22 あなたが困ったときの相談先はどこですか。(あてはまるもの全て選択してください)



※静岡県の調査では無回答はなし

困ったときの相談先では、「勤務先（派遣先）や監理団体の社員」が55.0%と最も多く、次いで「日本人の友人・親戚」が38.3%、「県・市町の相談窓口」が32.3%などとなっています。

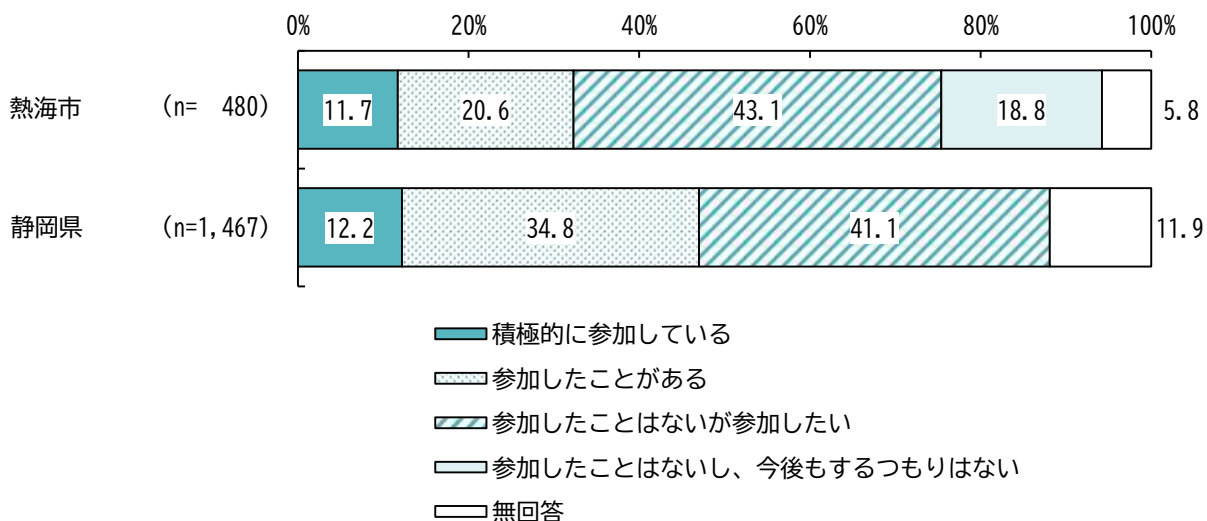
静岡県の調査と比較すると、「外国人の友人・親戚」は15.9ポイント少なくなっています。

11. 団体や行事に参加した経験

問25 あなたは以下にあげる団体や行事に参加したことがありますか。

(A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

【A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）】

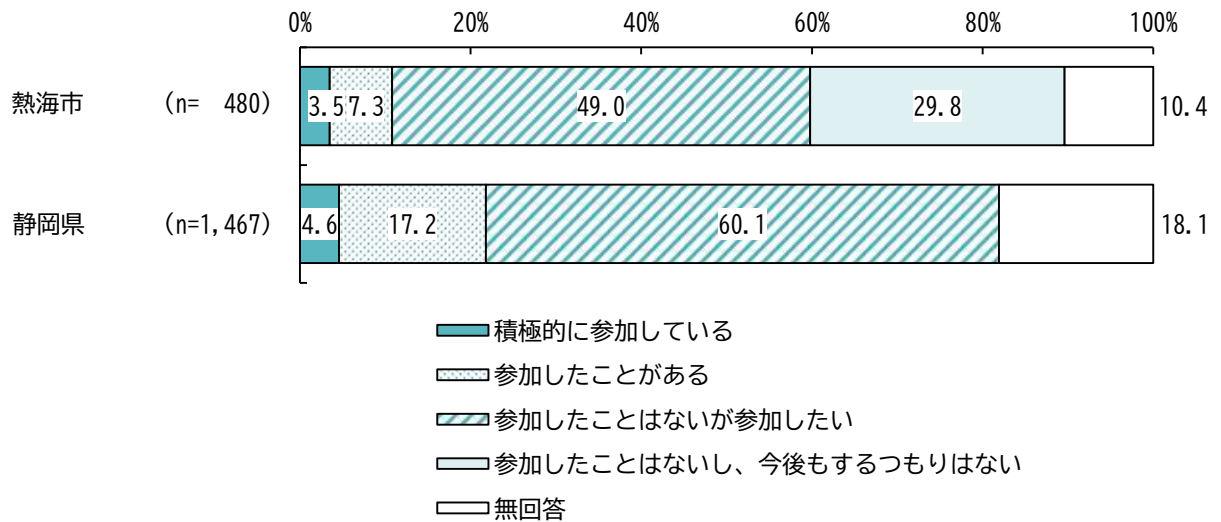


※静岡県の調査では「参加したことはないが参加したい」は「参加したことはない」、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」はなし

地域の行事（お祭りや地域運動会等）に参加したことがあるかでは、「積極的に参加している」が11.7%、「参加したことがある」が20.6%、「参加したことはないが参加したい」が43.1%、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」が18.8%となっています。

静岡県の調査と比較すると、「積極的に参加している」と「参加したことがある」を合わせた『参加経験あり』は14.7ポイント少なくなっています。

【B 自治体やボランティアによる日本語教室】

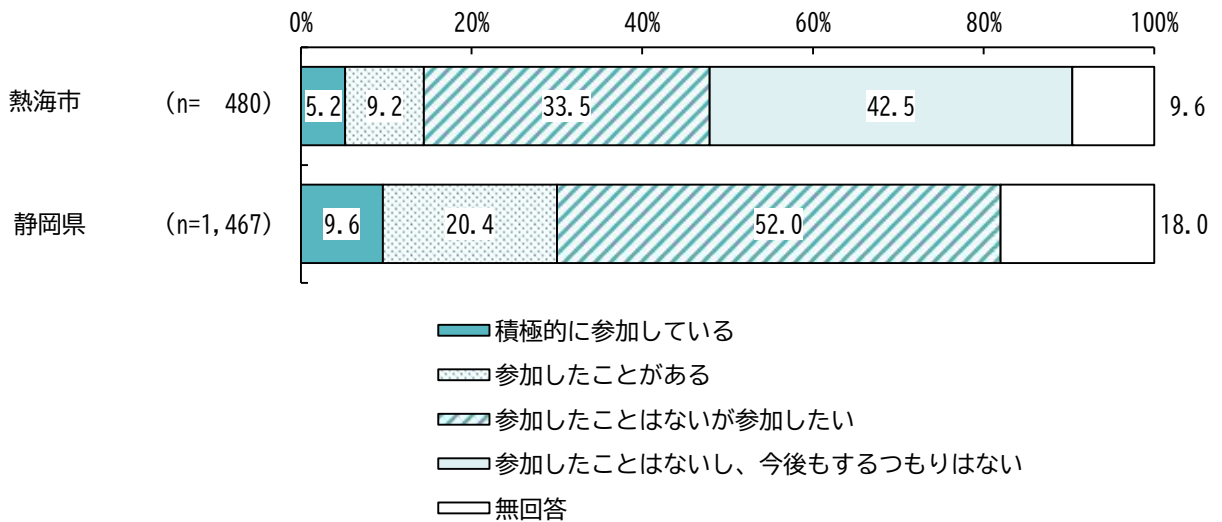


※静岡県の調査では「参加したことはないが参加したい」は「参加したことはない」、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」はなし

自治体やボランティアによる日本語教室に参加したことがあるかでは、「積極的に参加している」が3.5%、「参加したことがある」が7.3%、「参加したことはないが参加したい」が49.0%、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」が29.8%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『参加経験あり』は11.0ポイント少なくなっています。

【C 教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等】

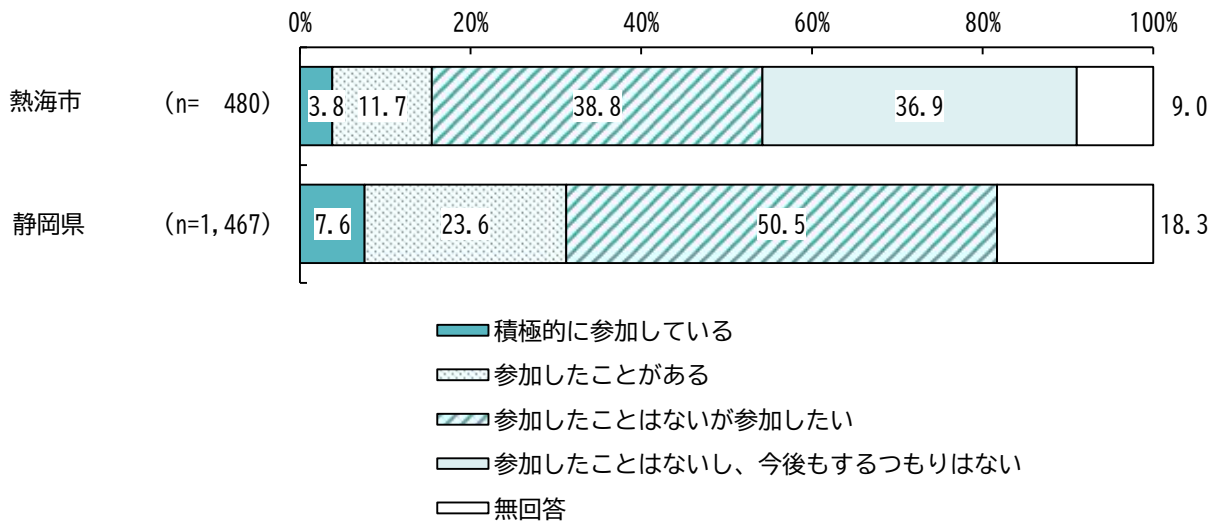


※静岡県の調査では「参加したことはないが参加したい」は「参加したことはない」、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」はなし

教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等に参加したことがあるかでは、「積極的に参加している」が5.2%、「参加したことがある」が9.2%、「参加したことはないが参加したい」が33.5%、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」が42.5%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『参加経験あり』は15.6ポイント少なくなっています。

【D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等】



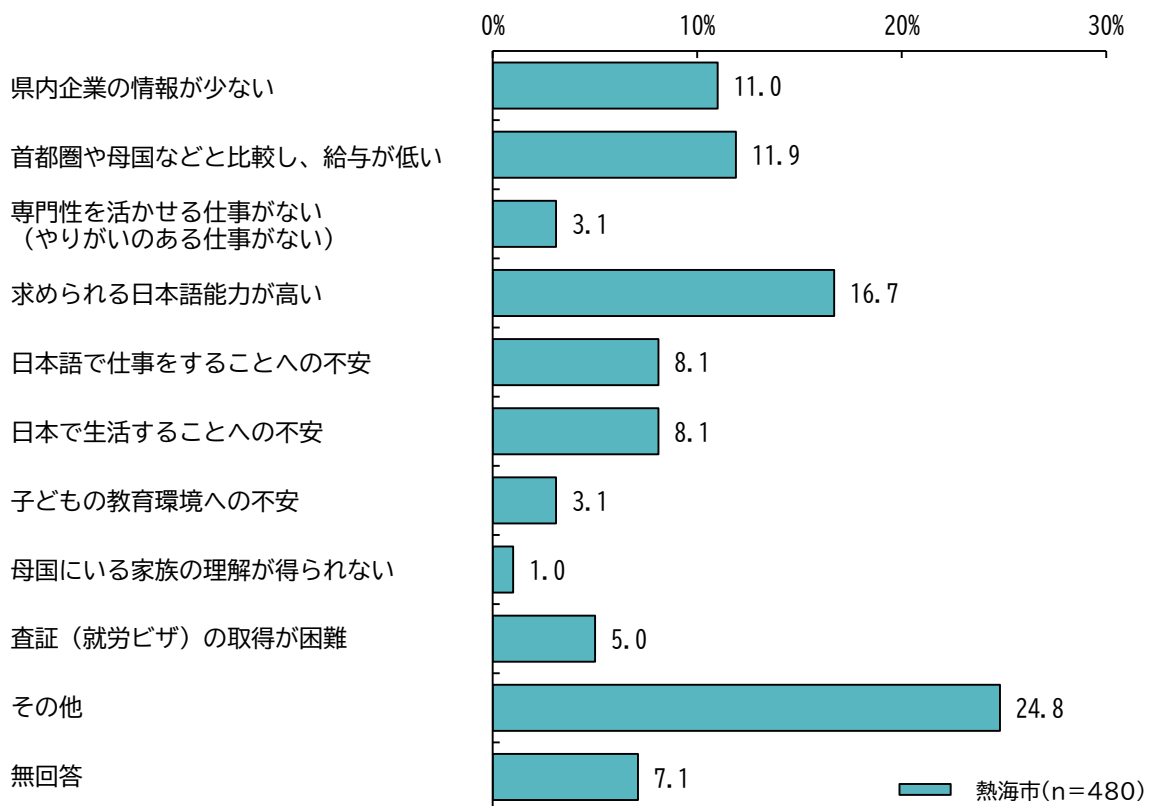
※静岡県の調査では「参加したことはないが参加したい」は「参加したことはない」、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」はなし

宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等に参加したことがあるかでは、「積極的に参加している」が3.8%、「参加したことがある」が11.7%、「参加したことはないが参加したい」が38.8%、「参加したことはないし、今後もするつもりはない」が36.9%となっています。

静岡県の調査と比較すると、『参加経験あり』は15.7ポイント少なくなっています。

12. 外国人が熱海市で就職・就労するときに課題となること

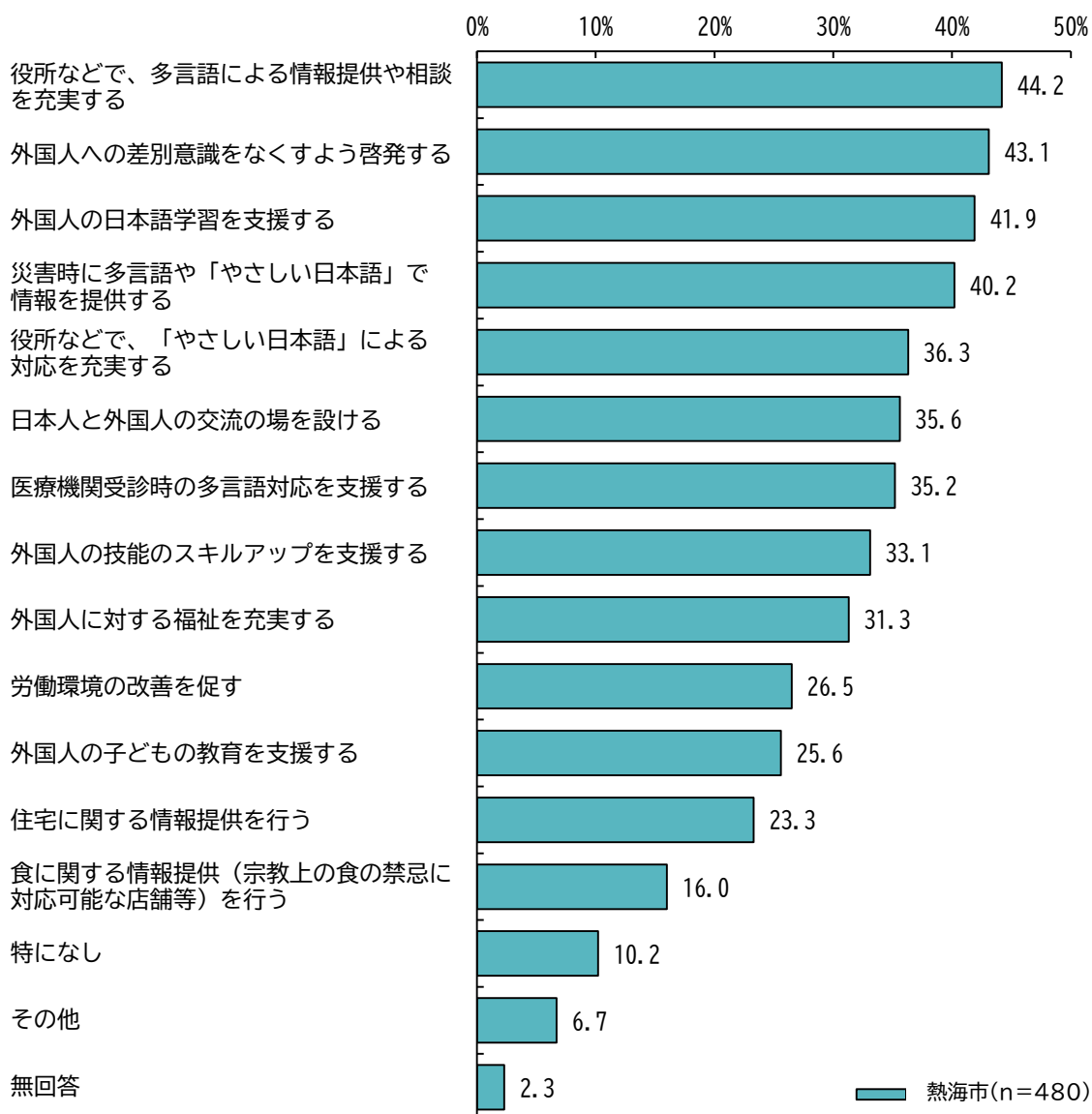
問27 あなたや他の外国人が熱海市で就職・就労するときに課題となること（困っていること）は何だと思いますか。（〇は1つ）



外国人が熱海市で就職・就労するときの課題では、「求められる日本語能力が高い」が16.7%と最も多く、次いで「首都圏や母国などと比較し、給与が低い」が11.9%、「県内企業の情報が少ない」が11.0%などとなっています。

13. 市役所や県に対して望む行政サービス

問29 あなたは、市役所や県に対してどのような行政サービスを望みますか。(あてはまるもの全て選択してください)



市役所や県に対して望む行政サービスでは、「役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する」が44.2%と最も多く、次いで「外国人への差別意識をなくすよう啓発する」が43.1%、「外国人の日本語学習を支援する」が41.9%などとなっています。